

・全世界:新型コロナウイルスの流行状況

新型コロナウイルスの累積感染者数は 12 月下旬までに約 7800 万人、死亡者数は約 170 万人にのぼっています(米国ジョンホプキンス大学 2020-12-23)。1 か月前に比べて感染者数は約 2000 万人増えており、北米、ヨーロッパ、西太平洋、アフリカでの増加が顕著になっています(WHO Corona virus disease 2020-12-22)。最近の米国では、毎日 20 万人前後の感染者が発生し、死亡者数も毎日 2000 人以上にのぼっています。ヨーロッパでも一時、感染者数が減っていましたが、12 月に入り再び増加傾向にあり、ドイツやイタリアでは死亡者数が増えています。西太平洋では日本、マレーシア、フィリピン、韓国で感染者の増加がみられています。

英国では 11 月からイングランド南東部を中心に変異株(YUI202012/01)の流行が拡大しており、感染力は従来ウイルスに比べて 70%高いと報告されています(WHO outbreak news 2020-12-21)。英国以外ではデンマーク、オランダ、オーストラリアなどで変異株が少数ですが検出されており、今後、世界各地に拡大することが懸念されています。なお、新型コロナウイルスのワクチンは、米国や EU などがファイザー社とモデルナ社のワクチンを緊急承認し、接種が開始されました。このワクチンが変異株に効果があるか否かについては、現在調査中です。

・北半球:インフルエンザの流行

12 月も北米、ヨーロッパ、東アジアでは、インフルエンザの流行がほとんど報告されていません(WHO Influenza 2020-12-21)。日本でも、12 月上旬の定点当たりのインフルエンザ報告数は第 50 週が 57 例と微増していますが、全般的に流行は低レベルです(国立感染症研究所 2020-12-7~12-13)。

・アジア:フィリピンで HIV 感染者が増加

フィリピンでは 1984 年以来、HIV 感染者およびエイズ患者が 8 万人報告されています(Outbreak News Today 2020-12-1)。今までは感染者の増加が緩やかでしたが、今年は 700 人以上の感染者が報告されており、増加傾向にあります。患者の 96%は男性で、マニラ周辺での感染が 4 割を占めています。

・アジア:トリインフルエンザ患者の発生状況

WHO は 2020 年 10 月下旬～12 月上旬のヒトのトリインフルエンザ発生状況を発表しました(WHO outbreak news 2020-12-9)。H5N1 型はラオスで 1 例、H5N6 型と H9N2 型は中国で各 1 例報告されています。H5N1 型は 2003 年から 17 か国で 862 人(455 人死亡)が報告されていますが、2016 年以降は患者数が大幅に減少しました。H5N6 型は 2014 年から中国で 25 人報告されています。

なお、鳥類でのトリインフルエンザ流行はアジア(日本、韓国など)で発生しているとともに、ヨーロッパ(ドイツ、デンマークなど)でも 8 月以降に 561 例確認されました(ヨーロッパ CDC 2020-12-11)。

・アジア:東南アジアのデング熱流行は鎮静化

東南アジア各国のデング熱患者数は 12 月になり減少しています(WHO 西太平洋 2020-12-3)。今年 はほとんどの国で昨年より患者数が減少していますが、シンガポールは 3 万人以上の患者数となり、過去 20 年で最大規模の流行となりました。